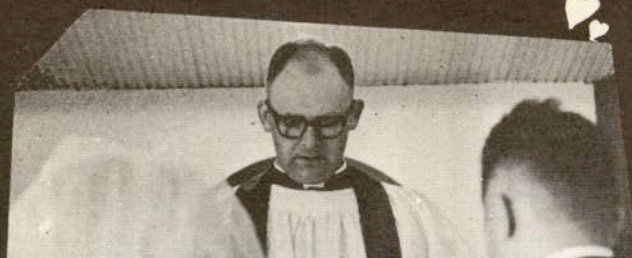


ああ結婚



♥アメリカで学生国際結婚

——今日はお集まりをいただき、ありがとうございます。最初に自己紹介からお願いしましょうか。ギャン布林 ギャン布林です。日本キリスト教団の宜教師です。これは家内の治子です。

シルマー シルマーです。ドイツ領事館に勤めています。家内のウタ子です。

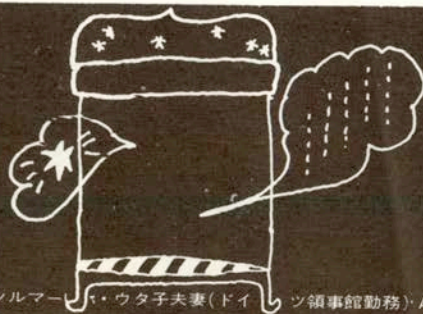
松岡 松岡です。絵かきをやっております。家内の峯です。

——まず結婚当時の思い出からお話いただきたいと思いますがギャン布林 私達は十五年前にアメリカで結婚したんです。家内は神戸生れなんです。アメリカに留学していた時に知り合い、一九五〇年六月十日に結婚したんです。

治子夫人 私は一九四八年九月に渡米して、はじめはテネシー州に留学したんですけど、一年でニュージャージーに転校したんです。そこに主人が居ましてね。知り合ったわけなんです。

——式はどこで挙げられましたかギャン布林 ニュー・ジャージーで、私の父が牧師をしていたんです。それで父の教会で父が式を行ないました。

治子夫人 その日は私の母の誕生日にあたるんです。それで感謝をこめて、また良い記念になると思って……。ちょうど土曜日の午後で、式の後、旅行に出たんです。ギャン布林 ニュー・ジャージーのオーション・グローブという所に行きました。海岸なんです。



松岡実一・峯夫妻(画家)

ワイリー・シルマー(ドイツ領事館勤務)・A・E・ギャン布林・治子夫妻(牧師)

治子夫人 二人とも学生でお金がありませんでしょう。十日に式を挙げて十一日の夜には帰ってきて、十四日から二人で働き出したんです(笑)とにかく私は結婚が目的で留学したわけではありませんしね。卒業だけはしたいと思っていました。

— ずいぶんお忙しかったんですね。

治子夫人 ええ、それは忙しかったですね。それに主人と私と専攻科目が違っていて、試験とか論文の提出期限がずれているんですよ。それで一緒に映画にでも行こうかという時に困りましてね。(笑)今から思うと、よくあんな事をしたなあと思いますし、他の人にはとてもおすすすめしたくないですね。

◆ 三人でデイト

— シルマーさんはいつごろ結婚されたんですか。

ウタ子夫人 やはり十五年前ですね。その頃、私は大阪に勤めていて駅で電車を待っていたんです。その頃主人の方も天王寺に勤めて神戸から通っていたんですね。

シルマー 私は急行で来るんですが、家内の方は普通のホームで待っているんです。それで一年ばかりずつと顔をみつめていました(笑)十二月にはじめて声をかけました。

ウタ子夫人 一年間顔をみていたという事は、私は全然知らなかったんですよ。毎日同じ電車で下りがくるなと思ってたんです。六カ月くらいしてから、まあ自然に頭を下げるくらいで言葉も分りませ

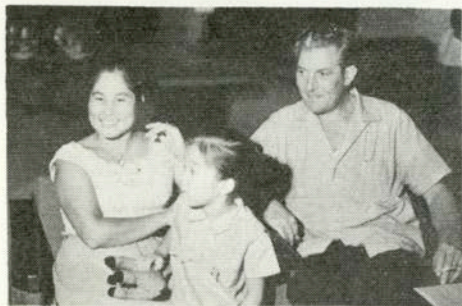
んし、分らないと思いついていましたから黙って通っていたんです。そしたらクリスマス前にはじめて声をかけてきましたね、主人が。それでもうこわくて……(笑)

シルマー そのときは断られて、それでは明日ならいいですかって言ってね。(笑)

ウタ子夫人 その日は会社に行っていたら一日申お友達に相談しましてね。結局、それなら私がついていってあげようという事になって、一番親しい友達がついてきてくれたんです。それから三ヶ月くらいはどこへ行くのも三人一緒でした。(笑)

シルマー もう、シビレがきれてしまってたね(笑)二人で話をしようと思っているのに、どこに行ってもついて来る(笑)

ウタ子夫人 その方とは今もおつきあいをしているんですけど、その話がでるたびに笑うんですよ。それで話が決まられたのは、いつ頃でしたか。



シルマー・ウタ子夫人

シルマーさん

ウタ子夫人 それから一年くらいしましてね。といいますのも主人の前の奥さんが子供を残して家を出てしまったんです。それで慌てて結婚したんですけど、それまでは両親にも言っていなかったんです。それで母に結婚させて欲しいって話をしたんですけど、絶対にいいないって反対されましたね。外人と聞いて兵隊さんと間違ってた、もし、向うに行くようになったら困るし国際結婚というものは破綻が多いからっていうんですね。それで私が荷物を一つもって飛び出してきたんです。私が十九才の時でした。(笑)

— 結婚式はなさったんですか。

ウタ子夫人 いいえ、そんな(笑)です。嫁いだその日から向う鉢巻で、子供の世話なんですよ(笑)一番上が九才で七、五、二才と続いて、二ツの子なんか親の顔を忘れてましてね、その日からママ、ママって後をついて来るんです(笑)もし結婚したとしても、私が三日で逃げて帰るだろうというのが、大方の予想なんです。上の方が会社を辞めるときも、上の時にすぐに会社に戻れるから休職にしときなさいっておっしゃって下さったりしたんです。(笑)でも私にすれば一度結婚した以上帰る意志はありませんでしたしね。まあ、今はどうにかやっていけるようになったんですけれどもね。

◆ 結婚一年で兵隊へ

— 結婚歴では松岡さんが一番で

しょうか、いかがですか。

松岡 まあ、よもやこんな話になろうとは思いませんでした(笑) 今、皆さんのお話をうかがいながら一生懸命計算しておったんです。

松岡夫人 二七年くらいですね。

松岡 こういう計算は女性の方が早いですね。(笑)

松岡夫人 でも、間で七年ほど兵隊にとられていませんでしたから

松岡さんが結婚された頃は時代としては良き時代だったわけですか。

松岡 それはまだ負ける気配もありませんでしたし、こちらもその積りで行っただけです。(笑)

松岡夫人 あんなに遅く召集がくるとは思いませんでしたしね。

松岡 召集が来たときは、ちょうど小磯良平先生の所にいましてね 松岡夫人 お正月でしたね。それに先生が賞をおもらいになったお祝いをしようといつてた日に召集令状がきたんですよ。

松岡 アトリエでずいぶんご馳走が出たんですが、いっこうに喉を通りませんでね。(笑)

松岡夫人 一年と少しですね、それまでは朝日新聞にいたのを辞めて、宝塚に入った頃でしたから：

朝日新聞におられたんですか。

松岡 ええ、営業の方にいたんですが、ちょうどその頃、雑誌の表紙を油絵にするのが流行しまして「新女苑」とか、そういう雑誌がみんな油絵になっていったんです。

それで宝塚で出している「歌劇」の表紙も油絵でやることになりました



ギャン布林さん



松岡峯夫人

松岡寛一さん

してほくが入ったんです。それで、召集がくるまで一年くらい宝塚の女優さんの顔なんか描いていましたんです。

♥ 楽しかった戦後の土蔵時代

——ご結婚なさったのは神戸です

か。

松岡 ええ、神戸です。

松岡夫人 神戸で生れて神戸に根がはえてしまっていましたね。(笑) 神戸の他はどこへも行ったことがないんです。

式はどこでなさったんですか。

松岡 家で親戚のものに集ってもらいましてね。家で行ったんです。

新婚旅行にはいらっしやいましたか。

松岡 どうも面目ないんですが、やってないんですよ。(笑)

その頃の思い出話を何かお話くださいますか。

松岡 そうですね。ほくの所は家が焼かれましたね。帰ってきたら何もない焼野原なんですね。その頃妹が灘にいましたので、しばらくそこにいたんですが、住いに困りましてね。丁度、小磯先生の所がお家は焼かれましたが、土蔵は残っていたんです。それを拝借して大分長い間ご厄介になりました。

松岡夫人 三年ぐらいいましたね。小磯先生もそこにおられたんですか。

松岡 いえ、小磯先生は塩屋の方へしばらくおられてから魚崎へ行かれ御影に移られたんです。きつとご自分の家の無残な焼け跡に住むのはおイヤだったんでしょうね。

松岡夫人 それで土蔵をお借りしていたんですが、足場がいいものですから、汽車がなくなるとか何とかいつては皆が泊まりに来たりしましてね、楽しかったですね。

松岡 その頃は絵かきの気のきい

た人は商売をやったりしてた頃でしてね。ぼくなんかはそっちの方は全然ですから、おとなしく勉強してたのが多少役に立ちましたね。その頃の勉強を今なしくずしに使い果しているところですよ。(笑)

——小磯先生の所はずいぶん広かったんじゃないですか。

松岡 広かったですよ。三千坪くらいあったでしょう。

峯夫人 そのに焼け跡を堀ってはおぼちゃやおイモを植えたんです。それがお盆前に大事にしていた大きなおイモが朝起きてみると、葉っぱだけあって下はみんな盗られてしまってるんですね。(笑)それからアヒルを飼いましたね。そのアヒルが夜中に逃げ出してしまいましたが、それを主人が追っかけておまわりさんにとめられましてね。松岡 泥棒と間違われたというわけです。(笑) おまわりさんから見れば夜中のことだし妙な格好をしていましたからね。

♥ボク太平洋の真ん中で生れたの？

——今日は国際結婚をなさったご夫婦が二組出席なさってるわけなんです。そういう面からのアドバイスをお願いしたいんですが。ギャンプリン まあ、国際結婚というのは普通の結婚に比べてわりと珍しめでしょう。それだけに問題もありますが、何といっても大きな問題は子供の教育という事です。例えば私達の場合は家内は日本人私はアメリカ人、子供は半分ずつですね。それで子供をどちらの半

分にしようかと(笑)というのは子供をアメリカ人として育てた場合日本人の血がおしえてですね逆に日本人として育てた場合にはアメリカ人の血がおしえてですね。そのミックスが非常にむづかしい(笑)特に子供はすぐに覚えてすぐに忘れますからね。例えば家の子ですと日本にいた間は日本人になるんです。それがアメリカに帰ると六週間くらいでアメリカの子供になるんですよ(爆笑)

治子夫人 その間のバランスをとるのがむづかしいですね、子供達にはあんた方は半分半分なんだからって事はいつあるんですが、はじめのうちは言葉だけで受取って、上の子が四つくらいのと私に聞くんですよ。「ボクは太平洋の真ん中で生れたの？」って(爆笑)それでどうしてなのかって聞き返すと、半分半分というんだから自分達は日本人でもないしアメリカ人でもない。だからちやうど海の真ん中で生れたのに違いないって考えたらしいんです。だからその時に半分半分というのは、私が日本人でお父さんがアメリカ人だからあなた方は純粹の日本人でもない、そういふ意味で半分半分なんだと説明して、やっと分たらしいんです。この頃はよく兄妹でどちらの半分が日本人でどちらの半分がアメリカ人だろうって話し合ってるんですよ。そしたら兄の方がいいところがある、お父さんはあなたの半分をもらって日本人になるからあなたはぼくの半分をあげるからアメリカ人になりなさい(笑)って……

私達が子供に望みたいことは、

自分達は不幸な子供なんだというみじめな気持ちをもった大きなってもらいたくないって事でですね。むしろ、それを誇りにして育ててもらいたいと思っています。

——シルマーさんの場合などはいかがでしょう。

ウタ子夫人 私は先ほどのお話とは逆によく考えて結婚したというわけではないんです。私自身も若かったです、時代も戦後の混乱期だし、両親をはじめ家後の者が結婚に反対しました……

私が入っていった家庭が複雑でしたから子供を育てるということ一つにしても苦労したんですよ。といいますのも前の奥さんが生き別れになってしまっているものだから、何かにつけて比較され、トラブルを入れたりしてしまってた。十年前くらいまでは実家へ帰るたびに「帰ってこい、帰ってこい」といわれましたね。私達二人の仲はうまくいったんですが私と子供、主人と子供となって相手が入るとうまくいかないんです。けれども子供も大きくなって事情が解つてくると、何故前の奥さんが家を出たかという事を理解するようになつたんです。でもむこうも自分の生んだ子で少し欲しがりまして、一番下の子をあげたんです。上の子は今ロスアンゼルスにいます。が、手紙をよくくれます。私自身は主人を信頼して、現在は幸福になつてますね。かりに人種がちがっても、相手を信頼してついてゆくという事が女には大切だと思えますね。

——話し合いなどはシルマーさんの方からなさるわけですか。

Akira Beauty Shop



美容室

あきら

西野 明

電話予約制

三宮本通り TEL(33)4461・6458



美しい花嫁を
創るKEIの店

*服飾
KEIの店

生田区三宮町3丁目57
大丸前服飾宝生眼鏡店2階
TEL(33)755・0

スリースリーチェーンのご案内

★グリルと喫茶

大丸南角浜側（住友生命ビル）

TEL. 33-1070-1

日曜祭日も営業、AM8.30～PM8.30

特に夕方は静かなムードでお食事が楽しめます。

小宴会、パーティ等もご相談下さい

★純洋酒スタンド

生田新道（赤い靴）上ル

TEL. 33-4730

10年のキャリアと豊富な洋酒で独特のムードをお楽しみ下さい

★コーヒーショップ

栄町5（日綿ビル地階）

TEL. 34-8749

ビジネス街の小さなオアシスコーヒーに 軽食に お気軽にご利用下さい。



レストラン
コラル キタノ

TEL. 23-2251



S.I.

ウタ子夫人 そうですね、主人はわりに無口なものですから、自然に私の方で、主人の行動で気持をくみとるわけなんです。例えば気嫌が悪いなと思えば控えるとか、しそこは夫婦ですから……（笑）主人は無口な反面、若いときからイタズラが好きで、年をとっておいさんになるほどひどくなるよーうなんですよ（笑）

—— どんないたずらですか。

シルマー そうですね。ラジオなんかで電話が鳴るでしょう。それを聞いてウタ子、電話だよって怒鳴るとやりかけの仕事を放っぽって飛んでくる……（笑）

そういうイタズラですね。そのときにバツときて忘れるんです。

ウタ子夫人 そういうところは日本の男の人に比べて外国人のすぐれた点だと思えます。

松岡 日本人はもうブツキラ棒ですからね。

—— 松岡先生はいかがですか、芸術家として後輩へのアドバイスは松岡 アドバイスというのはむづかしいですねえ。それぞれによって場合が違いますしね。それぞれで生きてゆくより仕方がないと思えますね。それを他人にアドバイスしても仕方がありませんしね。抽象的なことになりすけれど愛情と理解と信頼ということになるでしょうね。

結婚というのは契約とは違いますから、こんな管ではなかった、ということはないと思います。何と云って結婚してからはじめて段々と二人で築き上げていくものなんですからね。

治子夫人 やはり相手を尊敬する

ということが大切ですね。そうすれば相手を失望させたくないですものね。少しずつ自分を磨いていくという気持ちにもなりますからウタ子夫人 わりに平凡なということがむづかしいのじゃないかと思えます。だから一年経てば経つほど平凡な一生をきずいていきたいと思うようになりました。

松岡 こればかりはやってみなくてはわかりませんからねえ。やはり長年かかるでしょうね。だから結婚して二年や三年で答はできませんよ。まあ、やり直しのきく間にやり直しをしなくてはならない場合もあるでしょうがね。

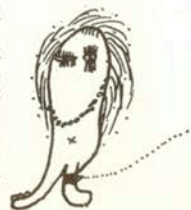
♥ 結婚の条件は？

治子夫人 私は結婚するまでは、しとやかな奥さんになりたい、と思っていたんですよ。今では夢にえがいていたような奥さんには、なれていませんけど（笑）

私なんか職業柄若い学生さんなんか相談にみえるんですよ。その場合によくて、あの人はとても好きなんだけどこの点だけは気に入らないで何とか直せる方法はないでしようかってみえる人がいるんですが、そういう人はまだまだ結婚する資格がないと思うんですよ。まだまだそういう見方をしているときには期は熟していませんね。本当に好きになれば何もかもひっくり返して抱擁できると思えますし、そうでなければ本当の愛情ではないと思います。

ウタ子夫人 それとこの頃の若い人達には、手鍋さげでもっていう気持がないと思いますね。

ピンク・コーナー



日本の男性の体格が貧弱で、アチラの水浴場に行くと、全然映えないといった嘆きをよく聞きます。しかし、人間の魅力はポリウムで決まるものじゃない。からだは小さくても、日本男性の肌は日本女性同様、キメがこまかくてスベスベしていて、それに毛が少ないことだ。そのよさがわからないアチラの女なんか、ケイベツしちゃってよろしい。

だいたい、西洋紳士の服装は、からだを厳重に包んでしまつて、出ているのは顔と手だけが、これはなにも始めに礼儀作法があつてそうになったものではない。ちょっととまれば、毛むくじやらな腕が出るというのでは、隠せるだけは隠せということになつてもやむを得んでしょう。

テレビの人気番組に「逃亡者」というのがありました、その主人公のキンブル先生の知性的な紳士ぶりは、日本のマダムにため息をつかせたものでした。ところが、ワイシャツのエリがすこしはだけるとドス黒い密林地帯が迫つていて、端麗なマスクとはどうもうまくマッチしない。天下の美女キム・ノバクと共演するとき、男優は皆胸毛をそつたと申します。日本の男性の裸体はみな美しいのに、女性の方に胸毛礼賛派がふえてきたのは嘆かわしい傾向だと申せましょう。（T）

峯夫人 それはそうですわね。何も無いところにとびこんでゆく人は少ないでしょうね。

ウタ子夫人 経済的に結びついて結婚に入りますけれど愛情そのものは表面的だと思えますね。だから離婚問題がすぐ後からやってくるんじゃないかと思うんですよ。

治子夫人 それに皆さんなりに早く結婚なさいますね。あんなのでいいのかしらと思う場合もありますね。えらそうない方かも知れませんが、やはり現実というものを捉えて、それに一生懸命に努力していくというより他に仕方がないでしょうね。

私自身、結婚生活で一番大切なことは相手を理解することだと思っています。相手の中にもないものを見出すとすれば、そこに不満も出てきますね。ありのままの人間として受け入れることが大切ですね。私達がお世話をしている人は学生さんが多いですから、四年間机を並べて勉強し、卒業してから結婚する人が多いです。ですから相手をよく承知した上で結婚するわけで、すからわりに離婚も少ないです。その点では安心してみる事ができると思います。将来に夢をもつことも大切ですが、一番大事なのは現在です。だから……。

松岡 たしかにそうですね。人生は甘いミツばかりではないということです。またその中に人間的な楽しさというものがあると思えますね。

我々はあまりに良心的ですからアドバイスをするというようなことには不向きですね。

——松岡先生にお聞きしたいんで

すがいわゆる芸術家の場合はいかがでしょう。

松岡 まあ、一般の人に比べれば変わっていますね。

峯夫人 固くるしいことは一切ご免だということです。

松岡 それはありますねえ(笑) それでも絵かきでもずい分苦しい人はいますよ。

峯夫人 それでも普通のサラリーマンから比べればずいぶん呑気だと思えますわ。いくらお金がなくてもね。

松岡 これでお金があれば苦労しませんがね(笑)

そのかわり自由さというものはありますね。

——現在の芸術家の結婚というのはどんなですか

松岡 そうですね。まあ皆さんうまいってなさる様です。それに不思議ですね。われナベにとじブタ人様のことをそういつては悪いすけど(笑) うまく釣合いがとれていますね。

良妻賢母型の奥さんというのはあまり見かけませんね。まあ、芸術家の場合はアドバイスはいらしません。といえるでしょう。

——今日はお忙しいところどうもありがとうございます。

(於オリエンタルホテル)

びんく・こおなあ



恐妻会の会長として知られた故阿部真之助氏のことを書いた「恐妻」という本はショックでした。六十年もの長い間、女房を恐れること鬼神のごとくだったというし最大の理由はどこにあったかというところ、阿部さんが満州時代、性欲の飢渴感に耐えかねて、ただ女でさえあればいい、アナさえあればそれでいい(まさかそんな表現はしてはいないが)というので、相手の性格などをよくたしかめめせずに結婚を急いでやったということです。ああ、恐ろしいかな。六十年の不作の淵源実にここに存す。

孔子やソクラテスの恐妻も同じ伝心ではないですか。赤線の味を知らず、性欲のハケ場がなかったマジメ一方の聖人君子に起こりやすい悲劇といえましょう。赤線という便利? なのものが廃止された現在、ますますこういう悲劇の起りうる可能性はある。女房とはタダの赤線だらけに考えて、あわてて飛びつくと、とんだ目にあう。古人いわく「タダほどこわいものはない」と。

しかし、若いときに適当な道楽をして、性欲の飢渴感に襲われたことのないテアイにも、恐妻病患者はいくらでもいるではないかとわれれば、その通りです。でもその理由はよく存じません。竹田の洋ちゃんにでも聞いてくださいませ

(T)



♥常夏の島ブルー・ハワイへ
米田一也(26才) 三協工業KK
取締役・副社長
美佐子(21才)
①東京(結婚式)―羽田―ホノル
ル―カウワイ島(二泊)―マウ
イ島(二泊)―ハワイ島(三泊)
―オアフコ島(ホノルル)(四泊)

アンケート 私たちの ハネムーン

- ① コースは……
- ② 費用はどのくらいかかりましたか。
- ③ いちばん印象にのこったこと。
- ④ 失敗談を一つ。
- ⑤ これからハネムーンへ
ゆかれるかたへアドバイスを。

―羽田(十一泊十二日)

- ② 飛行機代、ホテルその他みやげ
ものなど含めて百万円ぐらい。
- ③ プレスリーの映画、ブルーハワ
イに出て来たホテルに泊ったが
景色が大変すばらしかった。ま
たカウワイ島の「シダの洞門」
でハワイアンウェディングソン
グを演奏してくれるなどごく
楽しかった。そして特に新婚旅
行者には親切だった。
- ④ ところが親切もほどほどに受け
ないと……。というのは、家内
を一人だけいっしょうけんめい
誘いだそうとし、あぐくのはて
はくどくという仕末。

- ⑤ 日系人にはそんな人はいないが
そうでない人の親切のおしり
には気をつけた方が良いでしょう。
また、日本語を話せる人が
多く、言葉には不自由はしな
かったが飛行場のアナウンスなど
はすべて英語で、ちよっと聞き
ちがえて乗りそこねかけた。
- ⑥ 新婚旅行で外国へ行きたいと考

えられている方には、ぜひハワ
イをお勧めします。海外旅行の
始めての方は、言葉に不自由も
なく、風土も大変良いです。新
婚旅行向きといえるでしょう。



♥香港・マカオへの旅

磯井 功(28才) 三菱重工業KK

恵子(23才) 第二機械課勤務

① 大阪空港―香港―マカオ―香港

―大阪

(昭和四〇年六月七日―六月十
二日)

- ② ビザその他予防注射代など含め
て二、三万円、ホテルは一泊十四
ドル(アメリカドル) 食費別
- ③ 西洋的なものと東洋的なものが
美しく調和し、眠っているよう
に静かなマカオの街のたたずま
いは、狭い街々にあふれんばかり
のひとと車が行きかい、異様と
いってよい位の雑踏的雰囲気
を、かもし出している香港のそれと
対照的で印象に残った。またマ
カオではギャンブルが許されて
いてカジノへ出かけていって遊
んだり、香港の夜景が一望のも
とに見渡せるナイトクラブでダ
ンスを楽しんだり、シヨロを見
たりして夜ふけまで遊んだりし
て楽しかった。
- ④ 島内見物中、休憩のため立ち寄

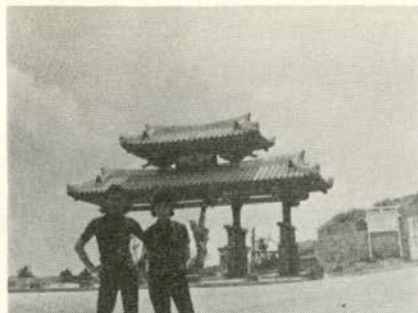
♡ 珊瑚礁の島、沖縄への旅

吉原通雄(32才) 洋画家

尚美(23才)

- ①(五泊六日)大阪—CAT航空にて那覇へ—全日空にて鹿児島経由福岡へ、小倉の友人を訪門、小倉日活ホテルに一泊、福岡—日航にて大阪へ帰着
- ②約十五万円
- ③エメラルド色の珊瑚礁を空から見た時、空港に降り立つてのどかな日差しをあびたとき、人っ子一人居なない海岸で泳いだときなど都塵をはなれて別天地にきた実感がありうれしかったです

⑤新婚旅行というものは結婚式直後で二人共疲労が最高頂に達している時なのでゆったりスケジュールを組む事が必要です。知らない土地で周囲が外人ばかりといった海外では、二人の信頼度がいつそう深まり、また国内旅行では味わえない解放感も満喫できてこういった意味でも独身時代の心がけ次第で海外旅行も可能になりますから、今後、結婚なさる方へは大いに海外への新婚旅行をお進めします。



- ④日程の関係でCATという中華民国の飛行機で行きましたが、スチューワーズが救命胴衣のつけ方などを説明する時、まず英語で説明した。さて次は日本語だろうと思っていたら中国語。結局、何もわからないうままでした。那覇市の郊外にアメリカ人向けの店だけのアーケードがあり、アメリカ人の店主につたない英語で安物の時計を一生懸命値切って買い、得意になっていたらその晩に動かなくなりました。
- 日本語ならくどくど文句をつけたいところ、結局正札で同値のライターと換えてもらうのが精一杯でした。

⑤沖縄は車も人も右側通行、道を横断する時は先ず左を見て下さい。

またたいいていの花嫁さんは見送りの人から花束をもらって旅行に出かけますが、沖縄へ出かける場合、検疫所でひっかかります。晴れの門出にとがめられると気分が悪いものですからあら

はじめ知っておかれますよう。

♡ 伊豆、箱根ドライブ新婚旅行

松原潤二(28才) 神戸日野モ

順子(23才) ターKK勤務

- ①神戸—静岡(一泊)—富士五湖一周—山中湖(一泊)—箱根一周(一泊)—伊藤—修善寺(一泊)—名古屋(一泊)—神戸五泊六日
- ②旅館代、ガソリン代で六万円
- ③季節が冬で(二月)雪化粧をした富士山が非常にきれいで印象的
- ④また旅館に時間通り入れれば良いだけで時間的にゆとりがあれば良い
- ⑤行く前にじゅうぶん車の整備をし、また、道の良いところを選んでいくこと。そして、しっかりと計画をたて、あまり長く乗らないこと。(一日五—六時間)
- 二人の新しい門出に際し、ちょっとした事故でも気まづくなるだろうし、無理をしないでしっかりとに運転するよう心がけること、そこにおのずと信頼感が増すことでしょう。





神戸に於ける競馬場

8月15日
オープン

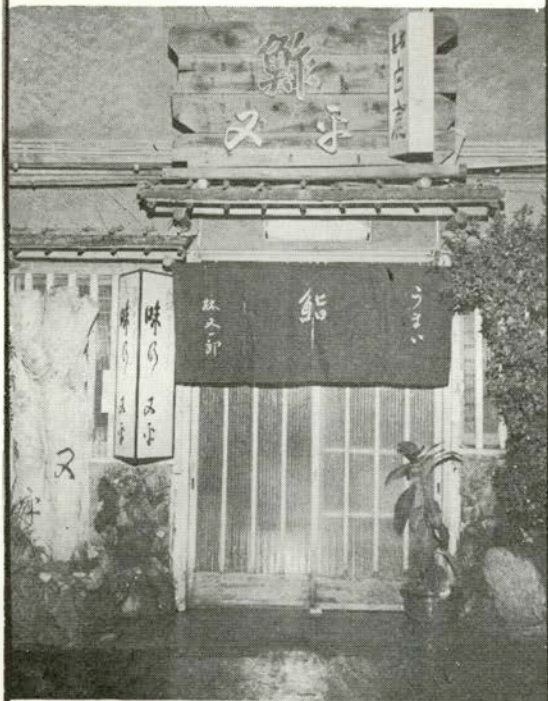
シボ・カ ザークット



34ベスターレーン 2階

神戸市生田区江戸町95(花時計西側) TEL・39-4169

神戸っ子の味覚に
ぴったり、又平の早馴れ鮓

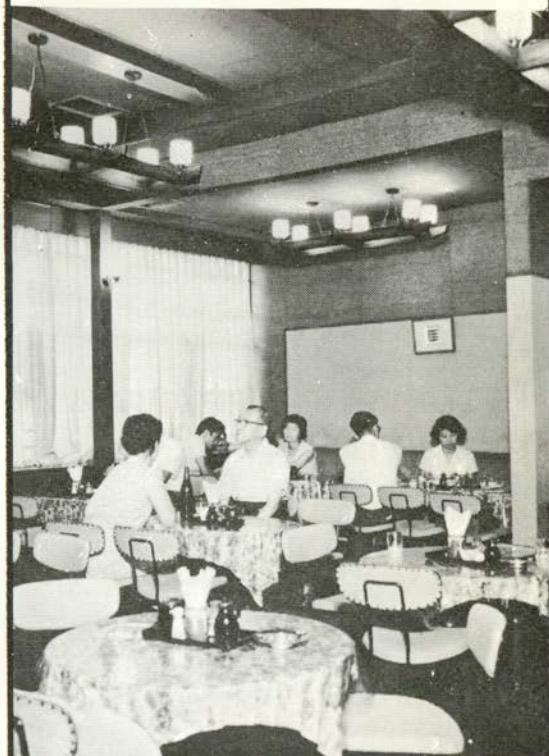


神戸三宮生田ノ社ノ西

鮓の又平

電話・三の宮 ㊿ 0935

ファミリーなムードで楽しい食事



ゲリル喫茶

元町通3丁目
本高砂屋2階
TEL ㊿ 7368





★神戸を楽しむ私のコース ⑬ 三宮界限そぞろ歩き

川 端 訓
神戸教育委員会指導主事

神戸で生まれ、神戸で育った私は、時々、三宮界限をそぞろ歩きするのが好きである。特に晩秋から初冬にかけての美しい裏山を背景にしての夕方の雰囲気は格別である。

これは中学生の頃、毎週土曜日の夕方から夜遅くまで、仲の良い友人数名連れ立って、平野から有馬道、新開地通り、神戸駅前、元町通り、三宮神社、トリアロード、そして再度筋を経て平野に帰着するという散歩の習慣が、今でも懐かしい思い出として身にこびりついているからであろう。

現在の私は、勤めからの帰途、喫茶店「レダ」に寄るのが常である。ここでの私は十数年来のコーヒーだけの良客である。「レダ」はかつては朝日会館の東北向い角にあったピカデリー映画劇場の南側に、神戸唯一のテラス付きの明かい喫茶店として外人にも親しまれた店であった。不幸にも映画館の火災のため、現在には三上洋家具店の裏小路で、来年度の店内拡張を期して、十人許りしか座れないが小綺麗なスタンド風の店で常連を良客として営業している。コーヒーは神戸市民の生活の中に深く

はいり込んでいて各自好みのコーヒー店を憩いの場所としているがこの「レダ」のコーヒーも香りと味がよいので私はここを安心の出来る家族との待合わせの場所として利用している位である。ここでゆっくり安息の時間を過して、三宮センター街に出ると、星電社前を上に入って、いわゆる「チャンチャン市場」を通るわけである。この周辺は若い娘さんや、気取った人は寄りつかないようであるが、私にとっては子供の頃の夜店を思い出させ、郷愁をそそられる。表通りの店とは似つかわしくなく、歩道から店内丸見えの軒並みの飲食店や屋台店から関東煮、



庶民のいこいの場ジャンジャン市場

ホルモン焼、焼鳥、貝の壺焼などの味覚を混えたような匂いが露路に充満していて食欲旺盛なものの胃袋を刺激する。関東煮店は労働者風の客が多いが、かつて友人に教えられて、食べに行ったあるホルモン料理屋は、あんがいサラリーマンが多かった。これは料理は衛生的で、その上、値が安く、店の主人など親みやすく肩がこらないときているからであろう。毎日お偉い方のしたで気苦労して働いている人は、たまにはこの場所に来て、自分の生活を見直し、翌日からの活気ある生活への指針を見出すならば結構なことではないかと思う。

ここを出て、戦後いち早く生田神社前ガード南側に店開きした、三軒の南京豆屋の一軒で落花生と花あられを買い、三宮市場北側から柳筋を経て「日東館書店」に立寄り新刊書を漁って知識欲を満足させる。

次に閉店間際の元ブラを楽しむ、宇治川から市電で帰宅するのが定石である。

神戸遊戯誌

25



大正12、3年頃のロックガーデン写真は直木重一郎氏提供

登山 ②

青木重雄

登山が山歩きや宮詣り程度のものから純粹な意味での高山登山技術を身につけたものになりはじめたのは、大正十年ごろだった。それまでも、一部の人々はすでにスキーによる冬山登山にも乗り出していたし、ロープなどを使つてのロック・クライミングは、すでに大正五六年ごろから阪神間では芦屋のロックガーデンで練習をする登山家が現われていた。そういう人々が集つて十二年ごろに芦屋を中心にR・C・C（ロック・クライミング・クラブ）が生れたが、最初のメンバーは榎谷徹造、藤木九三、後藤正彦（三菱造船技師）直木重一郎らの数名だったが、後には四十名ほどにふえた。なお、直木がロック・ガーデンの命名者だった。

だが、高度の登山技術が一般に認められるようになったのは大正十年ごろから大正末へかけてで、このころに

は外国の先進技術が続々と紹介されるようになっていたし、神戸では登山界の第一人者藤木九三が朝日新聞社神戸支局長をしていて、新聞紙面で大いに登山についての啓蒙記事を書いたことも預かつて力があつた。また、大正十年九月に榎有恒がスイスのアイガー・東山稜に世界で初めて登はんしたという快ニュースが伝わると、日本の登山界はめざましくアルプス級の高山への登山熱をみせ始めた。榎はそれ以前からヨーロッパに長いこといてヨーロッパ式登山技術を身につけたうえでアイガーを征服してきたものだが、彼が十一年に帰国してヨーロッパ登山法を宣伝すると、これがきつかけとなつて本格的な登山を試みる人々の数がいよいよふえてきた。アイガーといえば、八月中旬の日本人による北壁遭難の悲劇を思い出す。榎氏の壮挙から実に四十三年振りにアイガー

北壁頂上に日本人の足跡が高田光政氏によって印せられたことは全くすばらしい快挙だったが、同行の渡部恒明氏の墜落死は、かえすがえすも痛ましい出来事だった。今日まで二十七人の世界の一流登山家が死んだ「魔の北壁」といわれているだけに、いつそドラマチックな悲痛さを感じる。フィアンセの北山和子さんが西独ミュンヘンから駆けつけて死体と対面したことなど、痛ましきはさらに倍加された。渡部氏の冥福を心から祈るばかりだ。

さて、十年ごろから高度な登山技術が広く研究され、一般にも実行され出したわけだが、とくに学校における本格的な登山部の創設が盛んになり、早稲田、慶応、一高、三高、京都一中などはいち早く活動を開始していた。ところで、その頃までにすでに高度な登山法に乗り出していた少数の関西の先覚者たちの名を拾ってみると、まず、大正三年一月スキー富士登山をした金井勝三郎（甲子園在住、当時は今津村）が第一に挙げられる。

そもそも、日本へスキー術が実際に紹介されたのは明治四十四年で、同年一月に來日のオーストラリア駐在武官レルヒが新潟県の高田で軍人や民間人に教えたのが最初だった。彼は六甲山へもやって来てスキーを試みたことがあった。地球は年々暖くなって来ているといわれているが、そのためか当時は日本の山にも今日とは比べものにならないくらい雪が多かったもので、六甲山なども昔ははるかに積雪に恵まれていたので、レルヒも悠々と滑ったらしかった。有馬のお医者さんの中野理氏は、「スキーのれいめい」という著書の中で、スキーは日本へすでに明治三十年代にはいつて来た、と書いているが、実際には四十二年ごろが本当のようだ。大正へはいると、スキー登山を試みる人がちよいちよい出て来た。金井について京都の田中喜左衛門（もともと関西でスキーを初めてはいたのはこの人で、金井よりは早かった）が大正七年に山本吉之助らといっしょにスキーで徳本峠から上高地―中尾峠―船津へ出かけて成功した。この人は伊吹山でもよく滑った。同じころ神戸には神戸加島銀行の春日

英一と神戸製鋼の田中与市らがいて「六甲山スキークラブ」を作って、初歩的なスキーに精を出していた。これらの古いスキー組につづいて大正十年ごろから津田周二、水野祥太郎（阪大教授）小森太郎らがやり出した。

津田らははじめ先生もなく我流でおぼえ、スキー道具は友人に頼んで新潟に注文したものだったが、十一年に伊吹へ行って朝日新聞スキー講習会（講師中山再一郎）へ跳び込んだ。当時はまだスキー道具というものがもの珍らしく、そのころ立山へ行く時スキーを汽車の中へ持ち込んだら、「それで何を釣るんですか」と車内の客から聞かれたことがある―と、津田氏は語っている。

昭和三、四年ごろになると、がぜん各大学の山岳部のスキーヤーの数がめだつてふえてきた。なかでも、早大、慶大、東大、立大、学習院、京大、甲南、同志社などが以後競争的に日本アルプスを中心にしたスキー登山を行なった。この間（昭和二年十二月）早大生ら龍川谷でナダレ遭難、四名死亡、（三年三月）慶大大島亮吉前穂北尾根で墜死、（五年一月）京大生ら剣沢で遭難などの事故が発生している。関学にスキー部ができたのは昭和八年になつてからで、山岳部と分かれたものだが、それ以前にはスキーヤーがいなかったというわけではなく、大正十五年ごろには山岳部に入江英一というスキーヤーがいたし、昭和六年には秋山巖といううまいスキーヤーがいた。神戸高商山岳部にも大正十三年ごろ三好毅一というスキーヤーがいたが、その後毎日新聞社員となり病死した。とはいっても、一般のスキーヤーの数は今日と比べるとまことに少ないもので、大正十四年頃に出来た「神戸スキークラブ（メンバーにマナスル第三回遠征隊長の田口二郎がいた）」がそれでも、三、四十人の会員があったようだ。昭和三、四年ごろ「京阪神スキーマン懇談会」という京阪神のスキークラブが集って一年に一回の会合を催したが、五十人ほどしか集まらなかった。

神戸うまいもん巡礼

No. 37

赤尾 兜子

異色料理

今月は二つの異色料理をみることにしよう。

そのひとつは沖縄料理である。沖縄は昔から食生活がまずしく、イモを常食とし、豚を材にした料理は、結婚などの人生的な行事の場合に限られていた。

「那覇(生田区三宮町二丁目、朝日会館北西入)」はその沖縄料理を看板にした店だが、もともと和食の板前だった主人が、五年ほど沖縄の料亭で板前をし、戦後帰国して、もう和食には余地がないと、沖縄料理へふみきっただけに、材は豚、鳥、牛を使うが、和食でみがいだ腕と創意を加えて、ずいぶん見場をよく作った料理にあげている。

一般向には「ソウキ焼」(三五〇円から)「ラフティ」(二〇〇円)をすすめる。「ソウキ焼」は豚の骨つきにタレをつけて焼きあげ、南方系の季節の野菜をあしらったもの。蘇鉄みそ、ニンニクなどをまぜた念入りのタレをつけて食べるが、十分に脂気があつて、その割に舌ざわりがいい。もっと脂っこさがほしい人なら「ラフティ」つまり豚の三枚肉のたきつめがよからう。ごくやわらかく、もろい脂の味がたんのうでできる。

さらに手ごろには昼間(午前十一時—午後二時)に「お好み定食」(二〇〇円)があり、牛、豚ロース、牛レバー、若鶏のいずれかを焼いたものに生野菜をあしらひ、赤だし、漬物、ご飯。はやりのカロリー計算では、

この一食に千三百カロリーはあるらしく、BG客も多い左党には、琉球古酒(一五〇円)があり、これを口にくみつつ、耳皮酢物(一〇〇円)をつつくのなかなか味わいがある。ほかに「足デビチ」(豚足の汁、二〇〇円から)のスープの味、その秀逸さも私にはすてがたい。一階のカウンター席は十数名、二階の席数は二十人くらい。この店へ通い食べつづけて結核を全治したという人もあるという、まんざら作りごとではなさそうである。司厨にいたる若い板前補助など店員はすべて沖縄徳之島の出身。

異色という点では、台湾料理の「丸玉食堂」(本店・国鉄元町駅西口側、支店・国鉄元町—三宮間のガード下中ほど)が印象的といえよう。台湾料理は、むろん中華料理の一種なのだが、やはり台湾料理の名があるだけそこにはいくぶん風味のちがいが感じられる。

主人の林発さんは、何でも台湾で早く父を失い子供のころから肉屋の見習いなどをしてさんさん苦労したらしいが、米日して、台湾料理を看板にする店を開いてから二十年。店も三軒、息子に支店を仕切らせるといふ今日にいたったが、十年ほど前に私を知るようになってからでも、みちがえるほど店を美しくし、客の出入を繁昌させたものだ。口数も多いが、働き者である。

この店でまず特長のあるものは、台湾そばの「ロー

麵(一五〇円)である。自家製で、中華そばよりもやや太く、注文するとカウンターの前の大きな中華なべで、スープ、かたくり粉、卵をまぜて軽くいためつつ、「玉子とじ」のように閉じる。いくぶん汁気があり、やや厚ぼったい味。秋、冬場などは熱いまま食べるとくに美味に感じる。

豚肉のいい部分を、ダシにつけておいてひきあげて小片に切った「ローバ」(一二〇円)のぼつてり、くつきりした味も、特種なものだ。

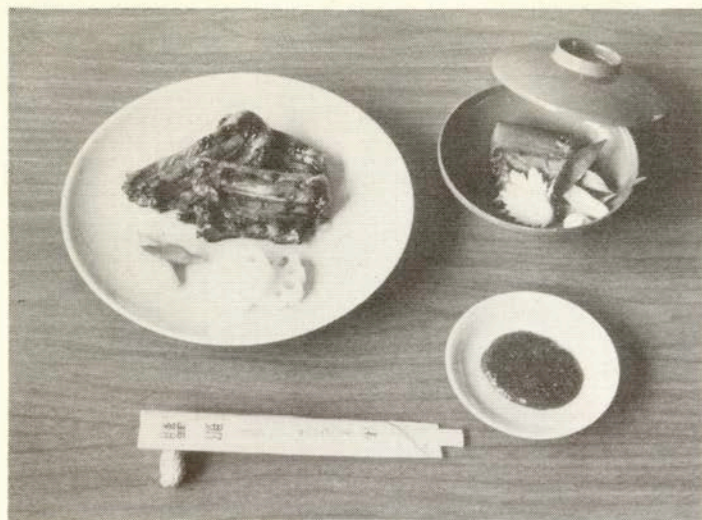
ほかに豚の腸づめ(一二〇円)は酒、ビールの肴に恰好の相手だし、焼米粉(ビーフン、一二〇円)も小品ながら、まとまった味をもつ。

この店、いささか客が騒々しい感じがしないでもない

が、総じて、一品の値段が安値である。こんど本店の二階には、小ざっぱりした日本座敷を三間新設した。テール料理で一人前六〇〇円から。これもかなり安値である。

ただ一言ことわっておくが、この店のどの料理も、そのおかたは見ただ目に美しいとはいえない。しかし、味そのものを楽しみたい人は、時々訪れてみて、損をしたということとは、まずなからう、と私は思う。

沖縄、台湾のこの二料理を看板にした店は、関西でもまれである。「各国料理がある神戸」という評判を裏づける意味でもおもしろい存在だということもできる。



「那覇」の見ばよく飾れた「ソウキ焼」と「ラフテイ」



「丸王食堂」自家製ロー麺 <150円> 秋・冬場は特に美味しい。

不況紳士

文・竹田洋太郎
え・石阪春生

大蔵省や日銀の幹部が集まって「日本経済の不況はすでに『底入れ』した。これから徐々に上向くだろう」といつている。これはもちろん、大蔵省、日銀はいくら不況でもつぶれることがないので、樂觀的でおれるのであって、本当に不況が回復すると思っている人は、民間ではそう多くない。

現在、ここに「不況紳士」なる題のもとに云々するのは、あるいは時期を失したかと思われる向きもあるうが不況はむしろ今後の問題である。とくに日本経済がオトナの経済に入った以上、不況が慢性的、あるいは、周期的にくるものと考え、それについて研鑽をあげむことはあらゆる職種の紳士にとって必要であると考ええる。

政府のある高官は、このような場合こそ、経営者が奮起して、難局打開に当たるべきであると警鐘を打ち鳴らしている。さすれば、どこをどう奮起するのであるか。筆者をしていわしむれば、この時こそ、肩の力を抜いて静かに周囲の状況に目をとめるべきなのである。ピンチに立った投手が、ここで奮起して、あくまで三振をとらずばやまず、と考えたとしたら、かえって危険であることは明らかである。

というより、紳士は責任ある地位にあれば、決してその職務に「一生懸命」になってはいけなものである。英国紳士の特徴は「アマチュアリズム」にあるという。首相になっても、師団長になっても前線にあっても、あくまで専門家としてカンカンになつてはいけな。それを体得しておれば、不況なんかは最初からこわくない。

だいいち、好況だ、とか、所得倍増だとかの声にいつ

までも浮かされて、負けてはならじと設備投資に狂奔した企業の末路を見てもわかるではないか。なぜなら、その経営者は企業経営に一生懸命になりすぎたからなのである。

そこへ不況がやってくる。在庫はふえる。販売競争にそれこそカンカンになる。結局のところが下らぬ手形をつかまされてパーという事例も多い。これも一生懸命の罪である。そこで「不況」の声をきけば、まずなすことは「休む」ことである。会社の売上げが伸び設備も拡張されている場合、経営者は何をしているかといえば、極めて忙しい中にも日夜時間をつくり、ゴルフにお茶屋にと出没し「精力的」だと人にいわれて喜んでゐる。これは紳士の風上におけないといつてもよい。忙しい時には、できるだけ仕事を部下にまかせ、社長室で相撲のテレビでも見ておればよいのだ。好況ならほつておいても会社は発展するものである。

そこで場面は不況へと転換する。経営者が忙しいと、その場面が転換したことを察知できないが、ボンヤリしておれば案外早くわかるものだ。そこで次にすべきことは「休む」ことである。ただちに従業員を休ませる。時間外勤務を少なくし、社との競争はほどほどにする昼休みの時間は他社の二倍を与える。社員は喜んで能率を落してくれるだろう。そこで経費は自然と節約される。そして経営者も休む。金があれば遊ぶもよし、なければ本でも読む。

いいかえれば、紳士たる経営者は好況も不況もブラブラしておればよいのである。ブラブラできないのは貧乏

性という。貧乏性とは働けば働くほどうまくいかないの
で不幸なことにこの人物は紳士にならないといつてよ
い。紳士は自己の企業に一生懸命にならないから、経済
界全般の動向、業界の動き、企業の内容を客観的に判断
できる。それが自然と企業の発展に役立つことくらいは
先刻ご承知だろうし、そこから生まれるアイデアは現実
性を持つてくる。大きな決断もできるわけだ。

そこで、不況時に際しては、紳士は会社の机の上にな
に置くべきかが主要な問題となってくる。経済雑誌、
経営学の書物は家に置いておけばよろしい。机の引出し
には、爪切り、耳かき。上にはパイプにタバコ、探偵小説
か随筆集。ときに双眼鏡をそなえ、窓越しに他のビル
の執務状態を観察するのもよい。ランチタイムはゆっくり
ととり、デパート、スーパー、商店街をブラブラ歩いて、
歩行者の表情から世論の動向を察知しなければなるま

い。

もし、好況のキザシがどこかで現われたことを知れば
部下をしてそれに向かうよう努力させる。部下は喜んで
働くし、これもほって置いて、士気を向上させる種にな
る。

「ああ、それをなぜ三年前にいつてくれなかったか」
と嘆かれるむきもあるだろう。だが、この「紳士入門」
はじまってすでに三十一回となる。最初からの読者は恐
らく知らず知らずにこの極意を会得し、不況に対処して
こられたものと思う。ゲンに倒産、あるいは会社更生法
適用の申請を行った経営者で、神戸っ子の愛読者であつ
た人はないではないか。

この原則は企業を経営する紳士のみに当てはまるだけ
ではないが、これより各職場に従事する紳士の心得につ
いてさらに詳述することにした。

